


# ESD のひろば

今月から始めました ESD のひろばでは持続可能な社会づくりについて、みなさんと一緒に考えていきたいと思  
います。今回は「そもそも ESD ってなあに？」ということを中心にみていきたいと思  
います。

## ESD ってなあに？

**今から未来まで！ 地球を救う！**



**E** (Education) エデュケーション フォー  
**S** (Sustainable) サステナブル  
**D** (Development) デベロップメント

education for sustainable development

教育・学び ~のための 持続可能な開発

ESD は、日本語にすると「持続可能な開発のための教育」という意味の言葉です。  
これだけ読むと、とても難しい言葉に感じるかもしれませんが、心配ありません！  
まずは「ESD」という言葉だけを知っていれば、大丈夫です。  
この3文字のアルファベット「ESD」で、今、世界中の人々が未来の地球を救うた  
めに行動しています。

ESD とは

毎日の暮らしの中で  
「考え、学び、気づくこと」

どう考えて  
何を学び何に気づくのか

環境省「こども環境白書 2015」より

ESD があるとこのように変わります。たとえば、、、

**ESDによって変わる 一人ひとりの行動**

流しそうめんを例えると・・・



ESD による行動の変化

次人のことに気付かず  
考えもなくそうめんを  
食べています

この人も次人のことに  
気付かず考えもなく  
そうめんを食べています

食べることが  
できないので  
困っています

それぞれが次人のことに  
気付いて、  
考えながら食べています

次人のことを  
考えながら  
食べています

みんなが流しそうめんを  
食べられる社会をつくるのが、  
「持続可能な開発」です。

環境省「こども環境白書 2016」より

## 子うさぎの森保育園の保育が変わるの？

子うさぎの森保育園の保育はこれまでと変わりません。

これまでやっている保育の中に ESD のエッセンスは元々あるのです。

今までの保育をしながら保育士が ESD を意識していくことで、自然に子ども達にも伝わっていきます。

同じように、おうちの方がご家庭で ESD を意識することで、普段の言葉かけが変わっていきますね。

それが持続できる社会の担い手づくりに繋がっていくのです。